

神戸大学大学院国際文化学研究所・異文化研究交流センター（国際部）主催 2013年度第1回講演会
ベルギー研究会 共催、日本フランス語教育学会（SJDF）公益財団法人フランダースセンター（大阪）後援

FLANDERS
CENTER

IREC

Les littératures francophones septentrionales: constantes et convergences

北方フランス語圏文学の特徴と共通性

文化の絶対的な中心地フランスに対する、フランス語圏周縁地域、特に北方諸国の文学の特異性と意義を探ります

日時：2013年5月27日（月）17:00～19:00 参加自由 / 懇親会 19:30～

場所：神戸大学 国際文化学研究所 E棟4階 大会議室（E401）

言語：フランス語（逐次通訳あり）

講師：Prof. Jean-Marie Klinkenberg ジャン＝マリ・クランケンベルグ名誉教授

講師紹介： ジャン＝マリ・クランケンベルグ氏（リエージュ大学名誉教授、言語学）

学際的研究チーム「グループμ」の活動を通じて修辞学の革新に参加し、認知論的視点から記号論の再定義に貢献した。フランコフォン（フランス語圏）諸文化の専門家でもあり、これらの文化へのアプローチを制度的見地から検討し刷新した。近著に『一般記号論概要 Précis de sémiotique générale』（2000）、『言語と市民 La langue et le citoyen』（2001）、『ベルギー文学 La littérature belge』（2005）、『ベルギー小神話 Petites mythologies belges』（2009）がある。ベルギー王立学士院会員、ベルギーフランス語・言語政策評議会会長。今回は日本フランス語教育学会の招聘により来日。



お問い合わせ先（国際文化学研究所）

岩本和子 研究室 TEL: 078-803-7472 Mail: iwamotok@kobe-u.ac.jp

異文化研究交流センター（IREC） TEL&FAX: 078-803-7650 Mail: irec@ccs-srv.cla.kobe-u.ac.jp

Les littératures francophones septentrionales: constantes et convergences

Jean-Marie Klinkenberg

La francophonie a un caractère traditionnellement centralisé. Ceci a une importante répercussion sur le fonctionnement des cultures se développant en langue française mais hors de France: il est impossible d'expliquer ce fonctionnement sans faire référence aux rapports complexes qu'elles entretiennent avec Paris.

Ceci affecte particulièrement les littératures francophones: des forces centripètes tendent à les assimiler aux lettres françaises, tandis que des forces centrifuges les en distinguent. Dans la présente conférence, on démontrera que ce mécanisme explique les grandes convergences que l'on observe entre les littératures francophones de l'hémisphère Nord: leur naissance tardive, leurs options stylistiques, les débats qu'on y observe sur la question de la langue d'écriture ou sur la question d'une littérature nationale, le choix qu'elles font de genres périphériques, la richesse de leurs pratiques métadiscursives...

ジャン＝マリ・クランケンベルグ「北方フランス語圏文学の特徴と共通性」

フランス語圏は伝統的に中央集権的な性格を持っている。それは、フランスの外で、フランス語によって形成される諸文化の機能に重大な影響を及ぼすことになる。この機能を説明するには、それら諸文化とパリとの複雑な関係を考えねばならない。

特にフランス語圏の文学へのその影響は大きい。向心力がそれらをいわゆるフランス文学に同化しようとする。一方で遠心力がそれらをフランス文学とは差異化する。本講演では、このメカニズムによって、北半球のフランス語圏文学の間にみられるいくつかの主要な共通点が説明できることを示したい。遅ればせに出てきたこと、文体の選択、書き言葉の問題あるいは国民的文学の問題についての葛藤があること、周辺のジャンルからの選択、メタディスクリプ的な実践に富むこと、などである。

会場への交通

阪神電鉄「御影」、阪急電鉄「六甲」、JR「六甲道」下車。
各駅前の停留所より、神戸市バス16系統「六甲ケーブル下」行に乗車。「神大国際文化学部前」下車。徒歩3分。
阪急「六甲」より徒歩で20分ほどですが、急な坂道が続きますので、上記バスのご利用をお勧めいたします。

神戸大学大学院国際文化学研究所
異文化研究交流センター (IReC)
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1-2-1
<http://web.cla.kobe-u.ac.jp/group/IReC>

